

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	1678
課題名	$^{99m}\text{Tc}$ -GSA liver scintigraphyと3D-CTを用いた新しい術前肝予備能評価法の開発
研究期間	西暦 倫理委員会承認日 ～ 2015年 3月 31日
利用する情報、検体	<p>●診療情報（詳細：GSAシンチグラフィー・CT検査結果、血液検査結果）</p> <p><input type="checkbox"/>手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ）</p> <p><input type="checkbox"/>血液</p> <p><input type="checkbox"/>その他（ ）</p> <p>※以下の期間に収集した情報、検体が対象となります</p> <p>西暦 2011年 1月 1日 ～ 2013年 6月 30日</p>
研究の意義、目的	肝腫瘍に対する肝切除手術は腫瘍の存在する場所と進行度、さらには肝臓の化学工場としての予備能力のバランスで切除容量が決定されます。これまでの世界的な基準は手術前の肝の代謝能を応用したものにすぎず、切除手術後の残った肝臓の予備能力が正しく反映されていません。GSAシンチグラフィーは肝臓の予備能力を、一方CTによる肝容積の測定は手術後の残った肝容積を正しく評価できます。そこで本研究では、①術前のGSAシンチグラフィーによる肝予備能評価値と肝臓の障害度や肝機能との相関関係を検討し、②各々の肝臓の予備力と肝容積の検討から、術後肝機能障害を回避できる肝臓手術のための新基準を確立することを目的とします。
研究の方法	当科の肝手術において術前・術後に施行したCT、GSAシンチグラフィー、ならびに血液検査結果、さらには臨床経過から、肝不全を回避できる新しい術前肝予備能評価法を開発します。なお、検体二次利用の同意の得られている検体を使用することとします。
その他	本研究は企業等との関係は一切ありません。
個人情報について	利用する情報、検体からは、お名前や住所など、個人が特定できる情報は削除して取り扱いますので、個人情報が外部に漏えいすることはありません。研究成果発表（学会発表、学術論文への投稿）の際にも、個人が特定できる情報は利用しません。
問い合わせ等の窓口	所属：消化器病態外科学講座 氏名：谷口 雅彦 電話番号：0166-68-2503